

# 防災だより

その54

防災専門官 野田<sup>のだ</sup> 秀敏<sup>ひでと</sup>

## 大雨や豪雨に備えよう

近年、経験したことのない豪雨や大規模災害が日本全国で発生し、特に、福岡県は、2017年以降、「4年連続」数十年に1度といわれる「大雨特別警報」が発令されました。次の豪雨は線状降水帯によるものでした。

2017年九州北部豪雨

2018年西日本豪雨

2020年梅雨前線の大雨

本市は、御笠川・鷺田川・大佐野川の3河川の浸水想定区域やその周辺の低い土地、また土砂災害の危険がある地域で、この時期災害リスクが増します。

毎年やってくる自然災害、特に梅雨や豪雨(台風)に対する備えは万全ですか? 次のポイントを確認しましょう。

### ①ハザードマップを確認

災害に備えるためまずは自宅の場所が「安全か」確認しておきましょう。

浸水被害や土砂災害などが想定される地域や避難場所が記載された「太宰府市ハザードマップ」で確認してください。市のホームページでも閲覧・印刷できます。

### ②地域の災害リスク

市を縦貫する御笠川は宝満山に源を発して南流し、市街地で鷺田川、大佐野川と合流しています。また、市内にはため池が52も存在し、大雨で増水すると決壊や越水の危険性も高まります。

さらに、宝満山と四王寺山沿いは傾斜が急で大雨になると地盤が緩み、土石流の発生や急傾斜地の崩壊などの土砂災害が発生することも想定されます。

市では過去、昭和48年7月と平成15年7月の豪雨により、15名の尊い命が犠牲となり、昭和28年以降18件もの大災害が発生しています。

### ③避難先を確認

自宅が浸水や土砂災害の危険性が高い、または低い土地に住んでいて大雨のたびに危険を感じている人は、いざという時の避難先を決めておきましょう。

市の自主避難所を知っていますか? 特に、災害リスクの高い地域に住む人のために、自主避難所3カ所を開設しています。

(1)中央公民館(プラム・カル

コア太宰府)

(観世音寺1-3-1)

※駐車場あり

(2)総合体育館(とびうめア

リーナ)

(向佐野21-2)

※駐車場あり

(3)太宰府館

(幸府3-2-3)

※周辺一般駐車場利用

(1)(2)は大駐車場もあります。災害リスクのある人やその近くに住む人は、市の災害警戒本部(災害対策本部)に、避難所の開設有無を確認し早めに避難してください。

また、避難先での感染を防ぐため「災害時の感染症対策」(後述)を参照してください。

### ④在宅避難に備える

自宅の安全が確保されていなければ必ずしも避難する必要はありません。

しかし、豪雨の継続や災害の発生によっては、物流が停止するなど物資の確保が難しくなることも考えられます。日頃からライフラインの停止に備えた食料や必要な物資の備蓄をしておきましょう。(最低で3日間、可能なら1週間分を用意)



## 災害時の感染症対策

●密集・密接を避け「分散避難」を!

各避難所の収容人数には限りがあるため、避難者が殺到すると3密は避けられませんが、

できるだけ避難所以外の安全な場所(親戚・友人宅、ホテルなど)への避難も検討しましょう。

### ●避難所で注意すること!

避難所の物資には、限りがあります。マスク・消毒液・体温計などは携行しましょう。

### 手洗い・咳エチケットの徹底

食事の前や共用部分に触れた後は、まめに手を洗い、マスクなどの着用や咳エチケットを徹底しましょう

### 3密を避ける

小まめに窓を開けて換気し、人との距離をとることで「密閉・密集・密接」を避けましょう。

### 毎日の体温測定

毎朝、体温測定と体調チェックをし、少しでも体調に異変を感じたらすぐにスタッフに連絡しましょう。